



本社社屋

- 本社所在地：鹿児島県鹿屋市
- 事業概要：特定建設業
- 常時使用する従業員：122名（2024年5月期）
- 現在の売上高：115億円（2024年5月期）
前期決算期：79億円（2023年5月期）
前々期決算期：74億円（2022年5月期）
- 法人番号：3340001014169
- Web：https://www.mori-group.jp/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
森 義大

「人へ、街へ、地球へ」
地方から「未来創造型建設業」を発信していきます。

「人へ、街へ、地球へ」が会社の理念です。
常に私たちの事業を通じて、人との調和、地域の活性化、地球への貢献を描いています。
そして今一番大事にしている原則は、三喜（顧客、取引先、社員）の仕事に徹する行動です。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2030年の売り上げ達成に向け、九州地域でのシェア拡大と地域ナンバーワンの実現、収益性向上（営業利益率7%以上の実現）を目指す。

課題

- 地域の人口減少・過疎に伴う労働者人口の減少
- 労働者人口の減少による人材確保の困難性
- 技術者の高齢化と高度化した情報化施工への対応の遅れ
- ベテラン技術者から若手技術者への施工技術の継承
- 資機材の価格及び人件費の高騰によるコストの増加への対応
- 受注型企業から提案型・創造型企業への転換

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- 多種多様な人材の採用と情報化施工に対応できる人材の育成
 - ・女性・他業種のノウハウを持つ人材の積極的活用
 - ・海外人材活用（ベトナム拠点連携）
- 情報化施工の推進による効率化と施工品質の向上
 - ・DXによる業務効率化、コスト削減による利益の向上
 - ・ICT施工/BIM/CIMへの対応による施工品質の向上と受注の増加
- 地域に即した事業の提案と仕事の創出
 - ・地域の基幹産業である農畜産業等への貢献

実施体制

- MIHを人材獲得・育成の拠点として整備
 - ・労働人口の吸収
 - ・情報化施工のスキルを持つ人材を育成し、現場に供給する。
 - ・ベテラン技術者のスキル、経験を情報化施工と融合継承する。
- MIHのバックオフィス機能による施工コストの削減
- 最新機器による測量等による施工品質の向上
- 施工情報・積算情報の一元管理による事業提案力の向上
- 農畜産業等地域の基幹産業への低コスト・高品質の建設物の提供

※本宣言は企業自身はその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです